護持

護持（月刊）
発行所
本派本願寺
ハワイ別院
1727 Pali Highway,
Honolulu, HI 96813
Tel: (808) 536-7044
Webpage:
hawaiibetsuin.org

禿 定 心開教使

先々月のことになりますが、インターネットで中継されていました京都・西本願寺の御正忌報恩講の大田利生和上の特別講演を、動画で視聴しました。その講演で、大田和上は、「生きることの意味を、はっきりと確認することが、本当に聞いたことである」とお話を始められました。そして、その答えとして「一輪の花をかざりて今日もまた浄土へかえる旅を続ける」と歌を詠まれ、「一歩一歩、お浄土への旅が、生きる意味だ」と仰られました。私たちの、今日のこの一日は、お浄土へとつながる一日、私たちの、今日のこの一歩は、お浄土へとつながる一歩。そのように、お浄土へ向かって生きることが、生きることの意味であると、聞かせて頂きました。もし、行き先がわからず、帰る場所の無い旅であれば、いつも先々のことが不安になり、今を存分に楽しむことができません。しかし、行き先、帰るべき場所がはっきりしていれば、旅を安心して続けていくことができ、今を存分に楽しむことができます。しかも、その旅には、阿弥陀さまや、親鸞聖人、先にお浄土へ行かれた方々、そして今、一緒にお念仏のみ教えを喜んでおられる方々とともに、歩むことができます。そこには独りぼっちの寂しさはありません。「報恩講の歌」の二番の歌詞にあります

「一人いてしも　喜び
なば　二人と思え。二人にして　喜ぶおりは
三人なるぞ。その一人こそ　親鸞なれ」を歌う時、親鸞聖人が、いつも私に寄り添ってくださっていることを感じます。私の一歩一歩のお浄土への旅に、親鸞聖人がつき添ってくださり、どこに居ても、阿弥陀さまの御手のうちにある私であることを、知らされることで、お浄土へと帰る旅を、安心して、今日もまた続けることができます。一歩一歩お浄土へと続く旅を、これからも、ともに歩まさせて頂きましょう。　南无阿彌陀佛

彼岸法要のお知らせ

今年も早いもので、もう春のお彼岸の季節がやってまいりました。今年の春季彼岸会は、住川・パート引退開教使にご法話をいただきます。住川引退開教使は、以前ハワイ別院に駐在されていたことがありますので、ご存知の方も多くいらっしゃることと思います。ぜひ、このご縁に、皆さまお揃いでお参りくださいませ。

日時：　3月18日
　　午前9時30分より

お彼岸って何だろう

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、「彼岸」とは一体何なのでしょうか？

「彼岸」とは、インドの言葉「パーラミター」（波羅密多）を訳した「到彼岸」の略称です。この迷いの娑婆を「此岸」とし、さとりの世界を「彼岸」として、その彼岸に到達するという意味です。

この彼岸の行事は、インドや中国ではその風習はなかったようで、日本で始まった仏教行事とされています。

善導大師（七高僧の一人）のお書きになられた本に、仏が人々に浄土を教えようとして、年二回春分・秋分の日に、西方を示されたとあります。「その日、太陽は真東からでて、真西へ入る。日の沈む方向、真西へ十万億の刹を超えたところに弥陀の浄土はある」とお伝え下さったと記されています。

春と秋のお彼岸の時期には、昼と夜の時間が等しく、太陽が真東から出て、真西に入ります。

この暑くもなく寒くもなく、日が真西に沈む時期こそ、お浄土を思いながら、仏様のお話を聞かせていただくのにふさわしい時期と言えるのです。

「真宗のクツ・ポント」（浦先生）より一部抜粋させていただきました。

ハワイ別院写真館

年に一度の大切な会議、本派本願寺ハワイ教団議制会が行われました。たくさんの大切な議題が話し合われました。

ハワイ教団議制会において、長い間プロジェクトダーナの責任者として無償で勤めてくださった中村ローズさんに感謝の言葉が述べられました。中村ローズさんのダーナの心は仏教徒として誠に尊くありがたいものであります。これからも、中村さんに教えていただいたダーナの心を未来につなげていきましょう。

今月の豆知識

二河白道ってなあに？

このお彼岸の時期、「二河白道」の絵を見られたり、お話を聞かれることがあるかもしれません。「二河白道」とはどんなお話で、誰がお話しくださったのでしょうか？

〈二河白道のお話〉

ある所に旅人がたった一人で荒野を歩いていました。すると突然、燃え盛る火の川と、荒れ狂う水の川が目の前に現れました。向こう岸は遠く、どちらを見ても、果ては見えません。ただ、真ん中に一筋の白く細い道があるばかりです。困った旅人が振り向くと、恐ろしい獣や盗賊がこちらへ向かってきています。

恐れおののく旅人がどうしたものか考えていますと、こちら岸から、「この道を進みなさい」と勧めてくる声が聞こえます。また向こう岸からは「迷わずに来なさい。必ず守ります」という声が聞こえます。この声にしたがい、旅人は無事橋を渡り、素晴らしい向こう岸へたどり着くことができたのです。

〈誰かお話しくださったの？〉

この「二河白道」のお話は、七高僧（親鸞聖人が選ばれた、浄土教の発展に大きな貢献をしてくださった七人の僧）の中のお一人である善導大師様がお書きになられた本の中にあります。

〈どういう意味なの？〉

火の川は私たちの怒り、水の川は欲望を表しています。

また後ろから追いかけてくる獣は私たちを迷わせる肉体の感覚、盗賊は違う教えを表しています。こちら岸から道を進めてくださった方はお釈迦様、また向こう岸から力強く呼びかけてくださったのは阿弥陀様を表しています。

〈私たちの姿〉

彼岸（向こうの岸）と此岸（こちらの岸）の書かれたこのお話は、お彼岸にぴったりと言えますね。よく考えてみますと、私たちの目の前にも火の川と、水の川が渦巻いているのではないでしょうか。欲望と怒りに翻弄され、色々なものに心を奪われ、迷いの日々を過ごしてはいないでしょうか。迷いの中を生きる自分と、それでも呼びかけ続けてくださっている阿弥陀様のお心を、この「二河白道」のお話が伝えて下さっているのです。。

三月のケアホーム訪問

一日　十時　ハレナニ　禿開教使
十時　ハレホアロハ　初瀬部開教使
八日　十時　マルヒア　お休みさせて頂きます
十時　リリハ　お休みさせて頂きます
九日　九時三十分　クアキニ　お休みさせて頂きます
二十九日十時　ヌウアヌハレ　カル開教使
三十日十時　レアヒ　カーフマン開教使

ハワイ別院三月の予定

8日―9日　BSC スプリングセミナー
12日　ホノルル本願寺カウンセル
25日　テイスト・オブ・本願寺バザー

3月のご法縁

朝は　朝顔の花のように　あかるく　輝いていたい

夕は　夕顔の花のように　ほんのり　匂うていたい　延村真武

3月4日	午前8時 午前9時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 ダーマスクール礼拝 英語礼拝 日中日本語礼拝	発定心開教使 ソル・カル開教使 初瀬部唯可開教使 発定心開教使
3月11日	午前8時 午前9時 午前10時 午後1時	日本語礼拝 ダーマスクール礼拝 英語礼拝 日中日本語礼拝	初瀬部唯可開教使 アーサー・カーフマン開教使 萩尾豊一輪番 初瀬部唯可開教使
3月18日	午前8時 午前9時30分 午後1時	日本語春季彼岸法要 英語春季彼岸法要 日中春季彼岸法要	萩尾豊一輪番 住川・バート引退開教使 発定心開教使
3月25日		ティスト・オブ・本願寺バザーのため お休みさせていただきます。	

KZOO放送　本願寺アワー

毎週土曜日午前七時半より AM1210 で放送中です♪

3月3日　発定心開教使
3月10日　萩尾豊一輪番
3月17日　初瀬部唯可開教使
3月24日　川路広美引退開教使
3月31日　宗藤達峰引退開教使

スポンサー料は１００ドル以上です。
お申し込みは発定心開教使までご連絡ください。電話番号（８０８）５３６－７０４４

開教使とお話をご希望の方

病院・ケアホーム等に引っ越しをした、車の運転ができなくなった等の理由により、お寺にいらっしゃることが難しくなった方で開教使とお話をしたいという方は、いつでもご遠慮なくハワイ別院までご連絡ください。別院駐在開教使がご自宅、病院・ケアホームまでご訪問いたします。